

9月1日は「防災の日」

災害時に命を守る一人ひとりの防災対策

土砂災害、風水害、地震などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日ごろから防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。防災対策で大切なことは、自分の身を守るために一人ひとりが取り組む「自助」。そのポイントを紹介します。

問い合わせ先 総務課情報防災係 (32) 3111

防災対策で重要な「自助」とは？

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「互助」、国や自治体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。

その中でも、基本となるのは「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。

電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まっても、自力で生活ができるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。

いつもの食品でもしもの備えに！

大きな災害が起きると、物流機能が止まり、スーパーやコンビニでも食品が手に入りにくくなります。

このため、家庭での食品備蓄は一週間程度が推奨されており、最低でも3日分程度は備蓄しておきましょう。万が一、日常生活とかけ離

れた事態が起こったとしても、いつも変わらない、温かく栄養バランスのとれた食事があれば、心と体が満たされ、前向きな思考と元気に活動するためのエネルギーが湧いてきます。

何を備蓄すればいいの？

水のほかに、缶詰やレトルト食品、カップ麺、乾物などを保存しやすい食品を備蓄しましょう。

また、可能であれば、調理に必要な力セットコンロ、カセットボンベも備蓄しましょう。

東日本大震災では、鶏卵、牛乳、小麦を除去したアレルギー対応食品を1カ月以上入手できなかった方がいます。乳幼児や高齢者、持病・アレルギーのある方は、それぞれの人に合った食品を最低2週間分程度備蓄することが重要です。



「やまゆり保育園龍神の舞」 場所：龍神の杜公園 撮影：らむ
我が子の勇姿を感動しながら撮っていました



「龍神まつり」
場所：龍神の杜公園 撮影：りび
最初で最後の龍の舞！暑い中よく頑張りました！！



「シャトルバス助かる〜」
場所：御代田中学校駐車場 撮影：Norie
暑い中エアコンの効いたシャトルバスは助かりました。よかった〜という喜びの表情



「子供神輿」 場所：御代田駅前 撮影：本田健一
真剣な表情を見て下さい



「子どもみこし」
場所：御代田駅前 撮影：コミヤマ
暑い中、子どもたちは頑張っていました



「次の世代へ」
場所：御代田駅前 撮影：シュガー
やったるぜ！



「これぞ龍神!!」
場所：御代田駅前 撮影：佐藤正美
三日間の東北旅行から電車で帰って来たら、目の前で「龍神の舞い」が最高の盛り上がりだったので思わず1枚撮りました♪



「クイズ大会」 場所：龍神の杜公園 撮影：このこ
中学生が必死に解答しています。みんな頑張ったね！



「再臨!」
場所：龍神の杜公園 撮影：あやぼん
久しぶりに開催された龍神まつり。主人、長男、次男我が家の男達はみんな龍を担ぐので感慨深いです。

4つの避難行動

町が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの
▶携帯電話
▶貴重品
▶常備薬
▶スリッパ など

通常のホテル・旅館への立退き避難
HOTEL
通常の宿泊料が必要。事前に予約・確認しましょう。

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

自宅にいても大丈夫か、ハザードマップを確認しておきましょう。

屋内安全確保

普段からどう行動するか決めておきましょう

危険を感じたときは自らの意思で避難行動を！

広報やまゆり7月号でもお知らせしましたが、町が開設した避難場所へ行くことだけが避難行動ではありません。複数の避難方法について事前に理解し、普段からどのように行動するか決めておきましょう。